

# MailConnect 4参戦報告

Interoperability Event for IMAP4

株式会社オレンジソフト

渡部 直明

kitarou@orangesoft.co.jp

# MailConnect 4

- 5/18.19 SanJose
- 関連URL  
<http://www.imc.org/imc-mailconenct/>
- 参加企業 11社
- サーバ製品 15
- クライアント ??????

## テスト方法

- 事前に持込まれるマシンの台数を確認
- 持込まれるマシンにIP addressの割り当て
- サーバのユーザ登録 ユーザ名 = ipxxx
- サーバに悪さをするとIPアドレスを叫ばれる
- サーバの障害を見つけるとIPアドレスを叫ぶ

# AUTHNTICATION

- CRAM-MD5による認証テスト
- サポートしているサーバは少なかった
- クライアントも少ないようだった

## I18Nなテスト? L10Nなテスト?

- 回りはI18Nと思ってきていていたいみたい
- でも、内容はL10Nのような気がする
- なぜならテストした内容は
  - Charset iso-2022-jp だけ

# みんなに喜ばれた漢字メールボックス

- UTF-7で作成するメールボックス
- **CREATE &MOEw,DDr-**
- 誰もテストした事がなかったサーバもあった

# 気になる検索

- SEARCH コマンド

A1 SEARCH CHARSET ISO-2022-JP TEXT “きたろー”

\* SEARCH 7 10 11 14 27 33 49

A1 OK SEARCH completed

## SEARCH charset 問題

- サポートしていない charset は \*NO レスポンス
- お願いだから \*OK は変えさないで
- 頑張っているサーバは日本語バリバリOK
  - ISO-2022-JP, EUC\_JP, Shift\_JIS
- A1 SEARCH CHARSET ISO-2022-JP TEXT “JANOG”
  - \*OK
- A1 SEARCH CHARSET ISO-2022-JP TEXT “きたろー”
  - \*NG とか \*OK でなにもしない

# ゲートウェイコード変換問題

- サーバの実装ではCT:charsetをみてコードを判断して検索するようだ
- ゲートウェイでコード変換がなかったら検索は無理

# BODYSTRUCTURE

- **FETCH uid (BODYSTRUCTURE)**

A1 FETCH 829 (BODYSTRUCTURE)

```
* 829 FETCH (BODYSTRUCTURE (("TEXT" "PLAIN" ("CHARSET" "iso-2022-jp") NIL NIL "7
BIT" 585 17 NIL NIL NIL)("TEXT" "HTML" ("NAME" "matrix.htm") NIL NIL "BASE64" 10
650 143 NIL ("INLINE" ("FILENAME" "matrix.htm")) NIL) "MIXED" ("BOUNDARY" "-----
-----F930E5ACFEC502EB8C7C4D74") NIL NIL))
```

A1 OK FETCH completed

- **FETCH uid (BODY[1])**

## やり残したテスト

- SEARCHの各フィールドに対するテスト
  - BODY,HEADER,FROM,TO等々
- CT: text/[plan|html] CTE:BASE64
- メールボックスのマルチ SELECT
- ACL
- 共有フォルダ

# IMAP4サーバの動向

- ISP向けにバリバリ動くぞサーバ
- 当然I18Nやるぞ
- L3s
- M7t
- N6e
- S1n

# 日本でもやりたい

- 毎回アメリカ行っていたらお金がかかる
- 英語もよくわからない
- L10Nのテストは各国でやらないと